

DRAGON AGE

BIOWARE社とファニメーション社が ティー・オーエンタテインメント（日本）との共同製作による 「ドラゴンエイジ」のアニメーション映画化を発表

曾利文彦監督による各賞受賞の人気ゲームを長編映画化！！

本日、BioWare™, Electronic Arts Inc. (NASDAQ: ERTS)と北米最大級のアニメ配給会社ファニメーション (FUNimation Entertainment) が、東京に本社を持つアニメーション及び映画の国際製作会社、株式会社ティー・オーエンタテインメント (T.O Entertainment) とBIOWAREの人気アクション・ファンタジーRPG作品「ドラゴンエイジ (Dragon Age™)」を長編映画として共同製作することを発表した。映画制作会社、OXYBOT Co. Ltdによって、既に制作が開始されている。



本作長編映画版「ドラゴンエイジ」は、曾利文彦が監督を務める。

曾利監督は、2002年に斬新な映像が話題を呼んだ実写映画『ピンポン』で監督デビューを飾り、日本アカデミー賞、優秀監督賞を受賞。2004年には、CGアニメーション映画『アップルシード』をプロデュースし、海外からも高い評価を受ける。2007年にはCGアニメーション映画『ベクシル』を監督し、世界200カ国で公開を果たす。

< 報道関係者からのお問い合わせ・素材請求先 >
株式会社ティー・オーエンタテインメント

〒150 0011 東京都渋谷区東3丁目13番11号 フロントピア恵比寿4F

担当：金 (kyungmin@toenta.co.jp) TEL : 03-6427-9621 FAX : 03-6427-9623

今回 Bioware からは、エグゼクティブ・プロデューサーMark Darrah とクリエイティブ・ディレクターMike Laidlaw、ファニメーションからは社長兼 CEO であるゲンフクナガとコンテンツディレクターChris Moujaes、T.O Entertainment からは、CEO である本田武市とエグゼクティブ・プロデューサー柴田維が製作責任者として名を連ねる。

ファニメーションの April Bennett と Adam Zehner に加え、ティー・オーエンタテインメントからはリンジー・ニューマンと紙谷零がプロデューサーとして参加する。

「OXYBOTと曽利監督がこの映画に参加することを本当に嬉しく思っています。OXYBOT制作の『ベクシル』の素晴らしい映像を見た時、『ドラゴンエイジ』の独特な世界観を映画化するのにふさわしいと思いました」とティー・オーエンタテインメントの社長、本田武市がコメントした。

ファニメーションのコンテンツディレクター、Chris Moujaesからは、「『ドラゴンエイジ』のような作品には、T.O Entertainmentのような国際共同製作パートナーが必要です。彼らの参加により、『ドラゴンエイジ』を世界中の観客に見せることができます」とコメントした。

また、ファニメーションの社長兼CEOフクナガは、「T.O Entertainmentと曽利監督がパートナーとして参加することで、『ドラゴンエイジ』という作品をアートアニメにしてくれると思う。彼らに、キャラクターデザイン、絵コンテ、アニメーション、音楽、そして脚本構成を含め、すべてを託しています」とコメントした。

「ドラゴンエイジ」は、ファニメーション・オリジナルエンターテインメントチームが手掛ける初作品として、2009年11月に共同製作のイニシアチブの取得を発表。2011年末に北米、他ではDVDをファニメーションより発売し、日本では劇場公開（時期未定）を予定している。

ドラゴンエイジ (Dragon Age) : <http://dragonage.bioware.com/>

『ドラゴンエイジ』とは

ゲーム会社『BIOWARE』が2009年11月に北米と欧州でXBOX360版とPC版、プレイステーション3版を発売し、累計販売本数400万本を突破。独特な世界観と映像美、奥深いストーリー設定が人気を呼び、世界中にファンが急増中の大人気ロールプレイングゲーム。

< 報道関係者からのお問い合わせ・素材請求先 >

株式会社ティー・オーエンタテインメント

〒150 0011 東京都渋谷区東3丁目13番11号 フロンティア恵比寿4F

担当：金 (kyungmin@toenta.co.jp) TEL : 03-6427-9621 FAX : 03-6427-9623

Electronic Arts Inc. (EA)

米カリフォルニア州に本社を構える、国際的なインタラクティブエンターテインメントソフトウェア会社。1982年の設立以来、ビデオゲームシステム、PC、ワイヤレス機器、およびインターネットの向けのソフトウェアを開発・販売し、世界に配給している。4つのブランド名（EA SPORTSTM, EATM, EA MobileTM そしてPOGOTM）で市場参戦し、2010年度は3.7億ドルのGAAP利益を記録。27タイトル100万ユニットを売り上げた。

EAホームページ及びオンラインゲームサイト：www.ea.com

EAの商品情報やプレスリリースは<http://info.ea.com> から入手可能。

【ファニメーション・エンターテインメント】

Navarre Corporation（アメリカ）の100%子会社であるファニメーション・エンターテインメント社は、日本からトップランクのアニメシリーズを配給していることで知られ、アメリカにおけるアニメ作品のホームビデオセールス市場のシェアリーダーである。そのブランド構築力には定評があり、放送、権利、生産、インターネット、ホームビデオ販売および配給の全権利をマネージメントしている。

【株式会社ティー・オーエンタテインメント】

2003年に東京で設立。以来、韓国、英国、シンガポールそしてロシアにオフィスを開設し、世界を視野に躍進を続けている。現在までに数多くのアニメシリーズ（「神曲奏界ポリフォニカ」「バカとテストと召喚獣」「伝説の勇者の伝説」等）や長編映画（「1303号室」「劇場版ストレイト・ジャケット」「劇場版“文学少女”」「ロボゲイシャ」等）をプロデュースしており、日本のエンターテインメント作品を様々なかたちで世界に送り出している。

【OXYBOT株式会社】

実写映画やCGアニメーション映画など幅広く、プロデュースからプロダクションワークまでの映像制作を行う世界的にもユニークなスタジオ。特にVFXやCGアニメーションなどデジタル映像の分野では日本でトップレベルの技術を誇っている。2004年に東京で設立。代表作に『ベクシル 2077 日本鎖国』『ICHI』『TO』などがあり、現在、実写映画『あしたのジョー』（2011年公開）を制作中。

BioWare 及びドラゴンエイジは、EA International(スタジオ/出版社)の商標である。EA, EA SPORTS, EA Mobile、そしてPogoはElectronic Arts Incの商標である。その他全ての商標は、それぞれの所有者に属する。

< 報道関係者からのお問い合わせ・素材請求先 >

株式会社ティー・オーエンタテインメント

〒150 0011 東京都渋谷区東3丁目13番11号 フロンティア恵比寿4F

担当：金（kyungmin@toenta.co.jp） TEL：03-6427-9621 FAX：03-6427-9623